

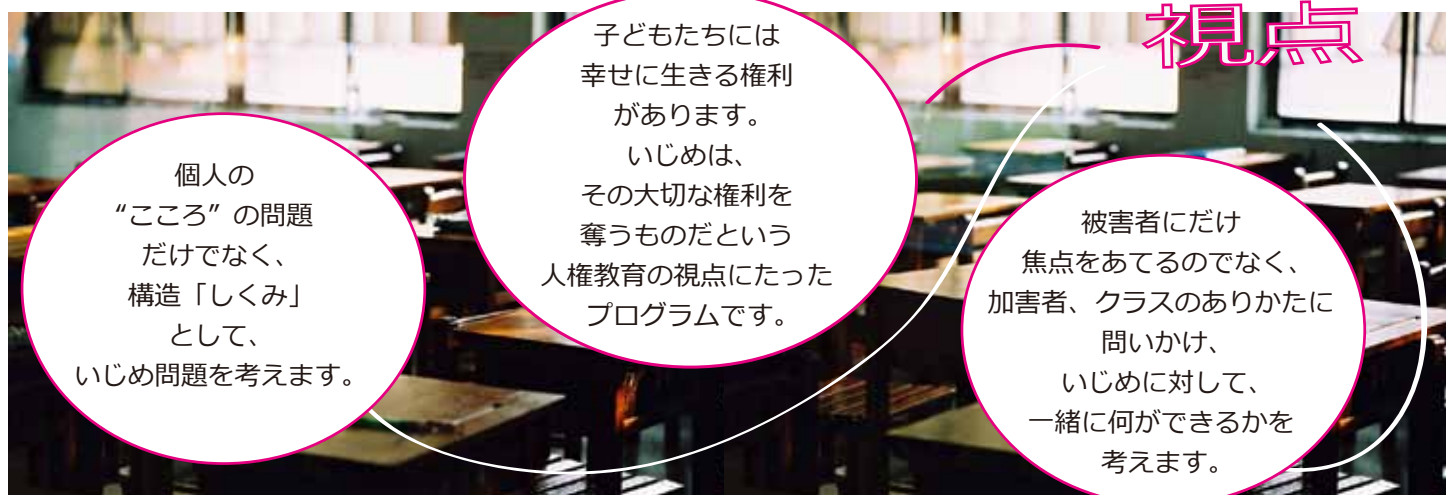


RE: プログラム

り・プログラム いじめをちょっとでもなくしたいプログラム

「RE: プログラム いじめをちょっとでもなくしたいプログラム」とは

2013年に survival13 実行委員会が、中学生へのいじめの防止プログラムとして作成したワークショップ（参加体験型）です。RE という表記には Rights<権利> Resilience<回復、弾力性> Respect<尊重> Empowerment<エンパワメント> Emotion<感情>などの意味を含めています。また、RE: には返信、応答するという意味もあり、プログラムを受けた中学生と何かしら気持ちの通うところがあればと願いを含めたプログラム名になっています。



内容

1 時限め

- ・「人権」「権利」「多様性」「不当な扱い」「感情」、特に怒りの扱いについて考えます。
- ・ひとりひとり多様であり、かけがえのない存在であることを考えます。

2 時限め

- ・不当な扱いが連鎖し、それが教室の中の構造的な「いじめ」につながることを取り上げます。
- ・その時（暴力の連鎖）に、当事者だけでなく教室そのものがなくすもの、そして、何ができるかを考えます。